

東京23区が
見える。わかる。

2023 SUMMER

Vol.53

ワンツースリー One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特集

四季のあるみんなの公園 もっと知ろう 楽しもう!

公園

- 千代田区… 俎橋児童遊園
- 中央区… 坂本町公園
- 港区… 有栖川宮記念公園
- 新宿区… 新宿中央公園
- 文京区… 神明都電車庫跡公園
- 台東区… 隅田公園

クマなくさんぽ

- …建物の文化的価値を活かした
目黒区総合庁舎

所蔵資料蔵出し

- …「建築雑誌」



もっと活用しよう!

特別区自治情報

こんなことしたよ

練馬区魅力紹介展示

「博士が愛した植物園へようこそ 練馬区立牧野記念庭園」

令和5年5月13日(土)から6月29日(木)まで、東京区政会館1階エントランスホールにおいて、練馬区との共催によるパネル展示「博士が愛した植物園へようこそ 練馬区立牧野記念庭園」を開催しました。

牧野記念庭園は、練馬区名誉区民で世界的な植物学者である牧野富太郎博士が大正15年から亡くなるまでの30余年を過ごした住居と庭の跡地です。博士は、もともと広がっていた武蔵野の雑木林の中に、採集してきたり知人から取り寄せたりした植物を植え、庭を「我が植物園」として大切に育んできました。

展示では、博士の功績や庭園で見られる四季折々の植物、書斎再現プロジェクトについて紹介しました。



展示会場の様子

1階エントランスホールでの展示のほか、4階の特別区自治情報・交流センターにおいて、東京都立大学 牧野記念標本館が所蔵している標本の展示を行いました。博士が収集した標本をご覧ください。貴重な機会となりました。



特別区自治情報・交流センターでの標本展示

交流センター

特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約11万5千冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料
蔵出し

おすすめのほんだよ

当センターの資料から読み解いてみよう!



大正12(1923)年に関東大震災が発生してから、令和5(2023)年で100年になります。今回は、建築学会発行の「建築雑誌」の中から、関東大震災について取り上げた号をご紹介します。



▶▶▶ 建築雑誌 大正13(1924)年1月号(第449号)

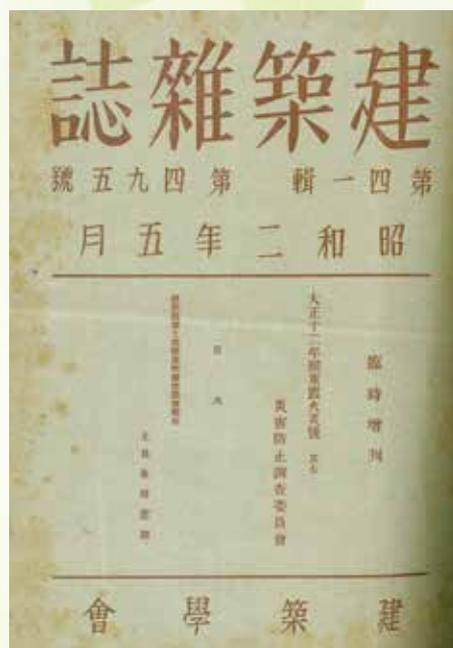
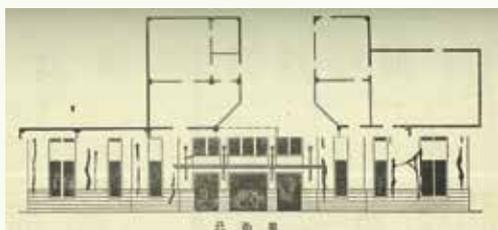
この号には、関東大震災に関する講演録が掲載されています。井上一之氏の講演「東京市の火災」によると、関東大震災で発生した火災の火元183か所のうち、火が消し止められた56か所を除く127か所は、9月1日の午前11時に発生してから42時間経つまで火が消えなかったとあり



ます。29万8,536戸が焼失し、焼失面積は1,063万950坪にも上りました。左の写真からも、火災によって多くの建物が焼失したことがわかります。

▶▶▶ 建築雑誌 昭和2(1927)年5月号(第495号)

こちらには、「^{てつきんこんくりーと}鉄筋混凝土造建築物被害調査報告」として東京の建築物の被害状況が記載されています。例えば、新宿駅については「震災により内部間仕切りの殆ど全部に^{かれつ}罅裂を生じ一部^{ほうかい}崩潰したるものあり」「外壁に於ては鉄筋混凝土造の主要構造部と帳壁の部分との^{せつしよく}接觸面に沿うて何れも大罅裂を生じた」とあり、^{いず}ひびが生じた箇所が図面で示されています。



★これらの古い資料は実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方はお気軽にカウンターまでお声がけください。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



目黒区

建物の文化的価値を活かした 「目黒区総合庁舎」

日本の高度成長期における建築家村野藤吾氏の代表作の一つである建物を改修し、2003(平成15)年に再生した「目黒区総合庁舎」は、「開かれた庁舎」として目黒区民のみならず多くの人たちに愛されています。

文化的価値を尊重して改修再生

目黒区総合庁舎は、かつて千代田生命保険相互会社の本社ビルでした。

1966(昭和41)年5月末に竣工したこの建物は、日本の高度成長期における建築家村野藤吾氏(1891~1984)の代表作の一つとして知られています。

総合庁舎としては、2002(平成14)年4月から改修工事を開始しました。長年愛されてきた広場や池、緑、優美な外観など、その文化的価値を活かし「開かれた庁舎」として2003(平成15)年1月に再生しました。目黒区総合庁舎には現在、目黒区役所各窓口のほか、東京法務局、都税事務所、休日診療所や子育てふれあいひろばなどの施設が入り、区民の暮らしを支えています。

柔らかな質感の印象的な建物

改修により中央の石畳の広場は駐車場に、緑の庭の一部は道路を通すため切り取られましたが、建物の内外に建築家や職人、美術家による協働の結晶が見られ、竣工当時のたたずまいを今に伝えています。見学時に特に目玉となる施設は、本館2階から4階の3フロアをつなぐ「らせん階段」です。このらせん階段は、「階段の魔術師」と言われた村野氏の代表作の一つです。その他にも南口玄関車寄せひさしや南口エントランスホール、渡り廊下、アルミ鋳物のたて格子が包む外観、和室と茶室などさまざまな見どころがあります。

後世に残る施設を目指し維持

訪れた人たちに親しまれる開かれた庁舎として、建物を利用したウェディング事業やロケーション誘致事業なども行っています。まもなく竣工後57年を迎える総合庁舎は、建物や設備の経年劣化を課題と捉えています。故村野藤吾氏が情熱を傾けた文化的価値の高い建築物である事を踏まえ、美観を損なうことなく、建物として維持保全や設備面での機能の向上に力を入れ、後世に引き継ぐ施設を目指しています。



↑アルミ鋳物のたて格子の外観



↑庁舎でのウェディング



↑らせん階段



↑ビルの中とは思えない茶庭と茶室



↑「心」の字の石組みのある中庭の池

ここも見どころ

- 目黒十五(とうご)庭(屋上庭園)
1,120.11平方メートルという広さに、グランドカバープランツエリア、新種屋上緑化植物エリア、芝生・キッズパークエリア、目黒野菜畑、和風庭園エリアと多様なエリアのほか、盆栽仕立てのゴヨウマツがあります。



↑屋上庭園の芝生・キッズパークエリア

目黒区総合庁舎

所在地 目黒区上目黒2-19-15

開庁時間 8:30 ~ 17:00
(祝日・休日および12/29 ~ 1/3を除く)

アクセス 東急東横線・東京メトロ日比谷線中目黒駅より徒歩5分

お問合わせ 03-3715-1111(代表)

特集

第1回(全4回)

四季のあるみんなの公園

もっと知ろう 楽しもう!



東京23区の公園を特集! 今回は計6区を ピックアップします!

千代田区



日本橋川への視界が大きく広がる憩いの空間

靖国通りと日本橋川が交わる旭橋の橋詰めという特色ある場所にある旭橋児童遊園は、隣接する特別区職員研修所の解放感のあるエントランスと一体的に2022(令和4)年に整備されました。「居心地が良い川沿い空間」として、植栽まわりにはサークルベンチや長ベンチを設置するほか、日本橋川沿いにはボードデッキをバリアフリールートとして整備するとともに喫煙スペースを撤去し、明るく開放感がある公園へと生まれ変わりました。現在は、新たな休憩スポットとして活用されています。



周辺にはオープンスペースが少ないため、貴重な憩いの空間として会社員や学生の利用が多い公園ですが、ステップボックスやケンケンパブロックを配置することで児童の利用も見込んでいます。また、ハレー彗星の接近を記念した「寿人遊星」(作:山下恒雄)が設置され、児童遊園に不思議な雰囲気を与えています。

千代田区立旭橋児童遊園

所在地 千代田区九段北1-1-1
開園時間 常時開園
休園日 なし
利用料金 無料
アクセス 東京メトロ九段下駅より徒歩3分
お問い合わせ 03-5211-4243
(環境まちづくり部道路公園課維持係)



中央区



東京で初めての市街地小公園がリニューアル

坂本町公園は、「東京市区改正設計」に基づく最初の市街地小公園として、元警視庁の避病院跡を活用し、1889(明治22)年に開設された由緒ある公園です。地域住民や企業、学校等とワークショップを重ね、2021(令和3)年にリニューアルオープンした公園では、自然の中で思い切り遊びたいという子どもたちの夢が、芝生広場や小川となって実現しています。地域と区が協力した公園管理の仕組みを確立し、地域住民を中心とした人々が集い賑わう公園を目指しています。



芝生の広場には小川が流れ、平成通り側には四季折々に花を咲かせる野草が散りばめられた「七草の庭」があります。「睡蓮の池」のほとりには、関東大震災の復興事業として設置された「こども像」を復元設置しました。都市に自然を作り出し、子どもたちが遊びさまざまな人々が集い賑わう場となっています。

中央区立坂本町公園

所在地 中央区日本橋兜町15-3
開園時間 常時開園
休園日 なし
利用料金 無料
アクセス 東京メトロ茅場町駅より徒歩2分
お問い合わせ 03-3546-5435
(中央区環境土木部水とみどりの課公園河川係)



港区



麻布台地の地形を生かした自然豊かな公園

児童福祉を目的とする遊び場に深いご関心を寄せられていた高松宮殿下が、1934(昭和9)年に有栖川宮家の御用地を東京市に賜与され、同年11月に記念公園として開園しました。その後、北東部を編入し1975(昭和50)年港区に移管されて、多くの人に親しまれています。変化に富んだ地形を生かした溪流や池がある日本庭園が特徴的で、港区麻布地区という都心にありながら豊かな自然を感じることができる公園です。地域の子どもたちが生き物観察などを通して環境について学ぶ場となる公園を目指しています。



春はウメやサクラ、ハナミズキ、初夏にはハナショウブ、夏は「区の花」のアジサイ、秋は紅葉、冬は雪景色など四季折々の花々や景色の美しさを堪能でき、多種多様な鳥や昆虫を見ることが出来ます。国内の公立図書館では最大級の約221万冊を所蔵する都立中央図書館が併設されており、老若男女が利用できる公園です。

有栖川宮記念公園

所在地 港区南麻布5-7-29
開園時間 常時開園
休園日 なし
利用料金 無料
アクセス 東京メトロ日比谷線広尾駅より徒歩3分
お問い合わせ 03-3441-9642
(有栖川宮公園管理事務所)



新宿区



「憩い」と「賑わい」のセントラルパークを目指す

新宿副都心計画事業の一環として1968(昭和43)年に開園した新宿中央公園は、区立公園最大の面積を誇る公園です。園内のウッドテラスから東京都庁をはじめとする高層ビル群を一望することが出来るとともに、青々とした芝の上で憩いのひと時を過ごすことが出来ます。園内にある「SHUKNOVA」では、レストラン・アウトドアフィットネスがあり、ちびっこ広場では、幼児専用広場や大型のすべり台、インクルーシブ遊具がそろう、オフィスワーカーから家族連れまでが一日を楽しめる公園です。



新宿区では、新宿中央公園の魅力向上を図り、まちや新宿区全体の価値を高めていくため、2017(平成29)年に「新宿中央公園魅力向上推進プラン」を策定しました。利用者の多様なニーズに応えるとともに、公園の特色や周辺の魅力を活かした誰もが足を運びたくなる公園を目指し、整備を進めています。

新宿区立新宿中央公園

所在地 新宿区西新宿2-11
開園時間 常時開園
休園日 なし
利用料金 無料
アクセス JR新宿駅より徒歩10分
03-3342-4509
(新宿中央公園管理事務所)



文京区



都電車庫の面影を感じられる「地域のシンボル」

1975(昭和50)年に開園した神明都電車庫跡公園は、「都電車庫の面影を感じられる施設整備により、地域のシンボルとなる空間整備」を目指した公園です。過去の資料等を調べ当時の色や内装に復元した都電の車両2両が保存されており、電車に近づけるようにプラットホームと、車両の劣化を防ぐために屋根を設置しています。園内には、障害の有無や国籍などに関わらず、あらゆる方々が遊べる「インクルーシブ遊具」や「じゃぶじゃぶ池」もあり、区内でも特色のある公園となっています。



じゃぶじゃぶ池周辺に夏場以外にも利用できるような山型滑り台を設置し、区民の要望が多かった大型の複合遊具を配置しています。ほかに、砂場やブランコ、都電型遊具、複合健康遊具を設置し、大人から子どもまで楽しめる公園となっています。今後は長く愛される公園を目指し、維持管理に努めています。

文京区立神明都電車庫跡公園

所在地 文京区本駒込4-35
開園時間 常時開園
休園日 祭スペースは、9時から17時まで
都電(6000形のみ)は、毎月第2水曜日9時から17時まで
毎月第4日曜日9時から17時まで
休館日 なし
利用料金 無料
アクセス 東京メトロ本駒込駅より徒歩14分
03-5803-1252
(文京区みどり公園課)



台東区



関東大震災の教訓を生かし生まれた復興大公園

本年度は、関東大震災100周年の節目を迎えます。隅田公園は、1923(大正12)年に起きた関東大震災の教訓を生かし、1931(昭和6)年、帝都復興事業により公園緑地の役割を改めて見直した結果生まれた、日本初の近代的臨川公園です。関東大震災後、復興大公園が3つ建設されましたが、その一つが隅田公園です。区立公園の中で規模が一番大きく、園内には野球場(大人用・子ども用)、陸上競技場、体育館、プールといったスポーツ施設のほか、子どもたちに人気の遊具も多数設置されています。



桜の木が約450本植えられている花見の名所として広く知られています。隅田川に沿って咲く桜と東京スカイツリーの眺望が楽しめるため、地元の人だけでなく近隣や外国の方も多く訪れます。例年4月中旬に流鏝馬(令和5年は5月27日開催)、7月の下旬には隅田川花火大会などさまざまなイベントが行なわれます。

台東区立隅田公園

所在地 台東区今戸1-1、浅草7-1、花川戸1-1、花川戸2-1
開園時間 常時開園
休園日 なし
利用料金 無料
アクセス 東京メトロ銀座線浅草駅より徒歩5分
お問い合わせ 03-5246-1111



特別区自治情報・交流センターからのご案内

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけますが、開催期間・時間に変更になる場合もあります。ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

開催時間 平日|9:00～20:30 土曜日|9:00～17:00 日曜日・祝日|休館

特別区全国連携プロジェクト 令和5年度第1回全国連携展示

主催 特別区長会、(公財)特別区協議会
期間 令和5年7月15日(土)～9月6日(水)

東京9区文化財古民家紹介展示 「私たちの町に古民家を残す」

主催 東京9区文化財古民家めぐり実行委員会、
(公財)特別区協議会
期間 令和5年9月9日(土)～11月1日(水)

「東京23区のことを知りたい人に」を発行しました



公益財団法人特別区協議会では、「東京23区のことを知りたい人に」を発行しました(令和5年3月発行)。

東京23区の位置と名称から始まり、市町村との比較や、横浜市等の政令指定都市の区との違いなどをとくべつクマが解説します。

特別区自治情報・交流センター(東京区政会館4階)で無料配布しているほか、特別区協議会ホームページでもご覧いただけます。

特別区協議会HP

<https://www.tokyo-23city.or.jp/tokei/shodana/index.html>



特別区自治情報・交流センターのご利用について

- 〒102-0072 千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階
 - 開館時間 平日|9:30～20:30 土曜日|9:30～17:00 日曜日・祝日・年末年始等|休館
- ※ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

(公財)特別区協議会ホームページ

<https://www.tokyo-23city.or.jp/>

特別区自治情報・交流センターホームページ

<https://ilisod004.apsel.jp/tokyo-23city/>

特別区自治情報・交流センター(とくべつクマ)

Twitter公式アカウント

@tokubetsukuma23



特別区自治情報・交流センター



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩2分

編集後記

今回を含めて4回にわたり、23区の公園をご紹介します。四季折々で楽しむとともに、災害時など様々な役割を担う公園を知るきっかけになれば幸いです。